

パルプ・紙製造業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	8~9	仕上室で台車（カッターカゴ）にある平板損紙の仕込作業を行っていたが、その日は損紙の入った台車が沢山あったので3人で作業を行っていた。ドンと大きな音がしたので共同作業者が振り返ると、倒れこんでいる被災者を発見した。脳しんとうを起こしており、救急搬送された。状況としては損紙を両手に抱えパルパーへ投入していたが、損紙で足が滑り転倒し、身体をパルパーの側面に強打し、首をひねったものである。	67	50~99
4	11~12	当社工場内で、断裁機で断裁後の紙の束（85cm×64cm厚さ約5cm重量約12kg）を手で持ち上げて作業台Aから1m程離れた作業台Bに移動させようとした際、作業台Aの端に足を引っかけてしまい転倒し、腰を強く打った。	63	10~29
7	19~20	休憩室にて空の牛乳ビンを回収箱へ戻そうと通行中、下に置いていたスノコに躓き転倒した。その際、コンクリートの床に右膝を強打し負傷した。	40	10~29
9	13~14	北倉庫2階のロール置き場で、ロールの片づけをしている時に、ロール横のベアリングの上に乗った時、ベアリングの歯止めをしていなかった為、足を滑らせて後ろに腰から落ちて負傷した。	60	30~49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)